

大学の世界展開力強化事業(平成27年度採択) 東京藝術大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度27年度・主たる交流先(トルコ))

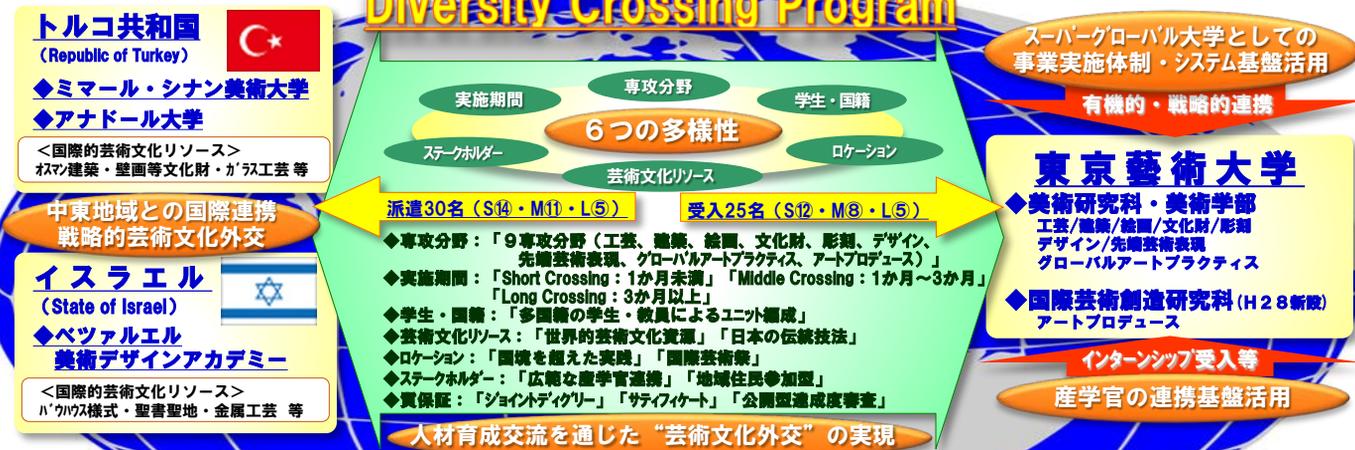
Global Arts Crossing ～ 中東地域との戦略的芸術文化外交 ～

【事業の概要】

グローバル化の急速な進展に伴う新たなフロンティア開拓等諸課題に即応するためには、国際舞台で活躍できる芸術家育成をはじめ、世界各国の“芸術文化リソース”を活かした国際的な芸術活動等国境を超えた展開が必要不可欠である。

そのため、我が国同様、芸術文化・観光振興を政策に掲げ、東洋と西洋の芸術文化が交錯・融合する「中東地域」をターゲットに、多数の歴史的な文化財や建築、工芸等、世界的に稀少価値が高く魅力的な芸術文化リソースを有するトルコ共和国のミマル・シナン美術大学及びアナドル大学、イスラエルのベツァルエル美術デザインアカデミーの中東3大学と国際連携ネットワーク基盤を確立して、学生の相互交流拡充や国際共同プロジェクト実践等を加速度的に実行し、グローバルに展開できる芸術家育成を戦略的に推進することにより、人材育成等の国際交流を通じた「芸術文化外交」を実現する。

Diversity Crossing Program



○事業実施に伴う大学の国際化・情報発信

- ◆「ファンディング戦略」としての事業成果等多官報発信
- ◆「アートコンソーシアム」新設による関係機関連携強化
- ◆「留学力水準認定」等グローバル化に対応した事務体制強化
- ◆「グローバル戦略評価・検証委員会」による第三者評価実施・結果公表 等

○環境・体制整備

- ◆「グローバルサポートセンター」による総合的支援
- ◆「アーティスト・イン・レジデンス」機能強化
- ◆「連携大学連絡会議」「産学官グローバル人材育成連絡会議」新設
- ◆「リスクマネージャー」配置や「派遣前研修」徹底等安全危機管理体制強化 等

【交流プログラムの概要】

「多様性」を基軸とした「Diversity Crossing Program」として、各国の特色ある芸術文化リソース等を最大限活用し、教員・学生の多国籍ユニットによる国際共同プロジェクトを基盤とする実践型プログラムを展開する。具体的には、9つの専攻分野を対象に、①Short Crossing:1か月未満、②Middle Crossing:1か月～3か月、③Long Crossing:3か月以上 の3つの期間設定により構成され、ジョイントディグリーや履修証明、公開型審査等による質保証システムをはじめ、学生派遣・留学生受入に係る支援や安全・危機管理の強化、アーティスト・イン・レジデンス機能の活用等総合的なサポートシステムを構築する。

【本事業で養成する人材像】

自国の芸術文化の承継・発展への貢献意欲を有するとともに、他国の芸術文化に対して深い造詣や尊敬の念を有し、世界各国における芸術文化の多様な価値や魅力を十分に理解した上で新たな創造に繋げることのできる先導的な人材、国際舞台においてオリジナリティやアイデンティティ、豊かな表現力や創造力を発揮して活躍できる傑出した芸術家を養成する。

【本事業の特徴】

芸術分野固有の特性を踏まえた6つの「多様性(Diversity)」を基軸としたグローバル展開プログラム(Diversity Crossing Program)であることが大きな特徴であり、具体的には、①専攻分野、②プログラム実施期間、③学生・国籍、④ロケーション、⑤芸術文化リソース、⑥ステークホルダー の6つの要素によりプログラムを構成し、将来的にはアジア・欧米を含めたグローバルワイドなジョイントプログラムとして発展させ、普遍的な「芸術文化外交」の実現を目指す。

【交流予定人数】

	H27	H28	H29	H30	H31
学生の派遣	11 (トルコ⑦・イスラエル④)	17 (トルコ⑩・イスラエル⑦)	25 (トルコ⑬・イスラエル⑨)	28 (トルコ⑯・イスラエル⑩)	30 (トルコ⑲・イスラエル⑪)
学生の受入	10 (トルコ⑥・イスラエル④)	14 (トルコ⑧・イスラエル⑥)	22 (トルコ⑭・イスラエル⑧)	23 (トルコ⑱・イスラエル⑧)	25 (トルコ⑲・イスラエル⑨)